



ご挨拶

呉市は新庁舎建設工事を進めています。**沖田のりひこ**は、当時呉市議会議員として、人口減少、高齢化の傾向著しい呉市にあって、あまりにも過剰設計でムダの多い庁舎計画に強く見直しを求めてきましたが、議会でも少数意見であり、その声は完全に押さえられてしまいました。

一昨年11月の市長選挙に出馬し、広く市民の皆様にご訴えたのですが、力及ばずの結果となりました。落札業者は入札時に「パソコンが壊れた」との理由で市庁舎の電子入札から紙入札に切り変えましたが、この度、「**パソコンは壊れていなかった**」事が判明したことにより、志を同じくする市民の方と共同で呉市長を相手に「**契約の無効**」を求め提訴し、現在継続中です。

呉市の真の発展を常に願い、考えながら行動する「**ブレない**」**沖田のりひこ**を今一度市政に送り出し、「**呉市のご意見番**」として行政のムダを徹底チェックする役割を担わせてやって下さることをお願い申し上げます。

後援会一同

呉市に喝!!



次世代の党 呉市議会第二支部長

THE PARTY FOR FUTURE GENERATIONS

「沖田のりひこ」プロフィール

昭和 33 年 03 月 三津口小学校卒業
 昭和 36 年 03 月 二河中学校卒業
 昭和 39 年 03 月 呉三津田高校卒業
 昭和 43 年 10 月 千葉商科大学卒業
 平成 03 年 07 月 安浦町長に当選。4 期 13 年 7 ヶ月 在職
 平成 17 年 03 月 呉市との合併により退職
 平成 23 年 04 月 呉市市議当選（たちあがれ日本公認）
 平成 25 年 11 月 呉市長選出馬により失職
 加入組織 / ひろしま呉再生ネットワーク代表
 阪東テクノス㈱代表取締役

呉市への提言

しっかり提言して参ります。

環境整備・農林水産業と観光振興

- 市街地道路下に巨大管路付設し冠水・浸水の防止
- 電線を地中化して街路をスッキリ
- 呉市内全住宅の屋根をオレンジ色、壁は白色に統一(世界遺産の登録を目指して)
- 両城中学校に通じる道路（七曲り）の入口の改良
- いきいきバス（70歳以上のバス100円）の恩恵を公平に
- 天応支所～国道に地下通路新設（自転車・歩行者専用）
- 呉線の高架事業推進（呉駅東西・広駅東）
- 危険いっばいの大屋橋踏切を廃止しセーラー万年筆北東踏切を拡大
- 音戸高須小学校高潮浸水対策
- 県道平谷線は小村市長の「心のこもった一言」で大きく前進します
- 市街地を再開発し、各家に車が横付けできる道路整備
- 有休農地を再利用し、学校給食の食材として活用
- 里山を整備して炭づくり
- 呉線にSLを走らそう（燃料は炭）

子育て・教育日本一をめざせ

- 五番町小学校跡地（約3,000坪）は売却せず、子育て中心の公園に
- 米飯中心の学校給食に
- 通学定期代の費用負担の均一化
- 中学3年生迄医療費の無料化（できれば高校3年迄）
- 小中一貫校の次は公設民営（コミュニティースクール）方式の導入だ
- 10歳迄（人間形成の時期）の教育に重点を置く
- 童謡・唱歌の歌声響く呉のまち
- 今結婚している夫婦にあと2～3人産んでくださいとお願いする（少子化対策）
- 中絶廃止（優生保護法の見直し）
- 子育て支援を徹底的に。出産・育児は国・県・呉市が全てまかなう
- シングルマザーの支援
- 社会保障制度（生活保護）の適正運用

これでいいのか呉市議会

市長与党になりすぎてしまっている！

- 二元代表制の一方を担う責任と義務
 - 住民の意思の代弁者（民意の代表者）
 - チェック機能（機関）
 - 議会は有権者を映し出す鏡
- 以上の自覚を持つことが求められている

議員定数28人を目標

●今回から32人となりました

新庁舎どこまで上がる建築費

●約5億900万円アップ
(完成時にはさらに上がりそう...?)

監視カメラ台数やっと思直し

●249台→81台



次世代の党

THE PARTY FOR FUTURE GENERATIONS

jisedai.jp

twitter @j_pfg

facebook /jisedai.party

呉市議会第二支部長：沖田 のりひこ



子供3人で月7万円、4人で月15万円の児童手当で、子育ての経済的不安の解消を

「日本の底力を取り戻す」子どもがあふれ、地方がよみがえる。希望の持てる日本へ

1 子供が多い世帯により多くの手当を

このまま少子化が進むと人口は減って経済力は衰え、地方都市は消滅へ。一方、「子供を3人以上欲しい」と回答した夫婦の割合は4割を超えています（国立社会保障・人口問題研究所2010年調査）。ネックは子育て費用です。そこで子供が多い世帯により多くの手当を出す「傾斜型児童手当」の創設を提案します。この傾斜型児童手当では、第3子まで授ければ月7万円（地方で昼間パートで得られる収入に相当）、第4子まで授ければ月15万円（地方でフルタイムで得られる収入に相当）となり、「多くの子供が欲しい」という世帯の経済的不安がかなり解消されるはず。財源は約3・9兆円、現在の児童手当の2倍。民主党の子ども手当5・4兆円よりも少ない額です。

2 出産費用完全無料化、不妊治療の助成拡大を

次世代の党は、妊婦検診や産科医の少ない地域での通院交通費も含めた出産費用の完全無料化を推進します。また、政府は、不妊治療に対する助成回数を平成28年から通算10回から6回へと減らす方針ですが、次世代の党は通算10回を維持すると共に、一回50万円近くかかる体外受精に対する助成も提案します。

3 返済不要の給付型奨学金制度の拡充を

ほとんどの先進諸国では、返済不要の給付型奨学金制度が実施されています。日本の場合、(独法) 日本学生支援機構 (JASSO) による奨学金が全体の9割近くを占め(金額ベース)、そのすべてが、返済が必要な貸与型の奨学金です。次世代の党は、返済不要の奨学金を給付する制度(約50万人分相当で年間4000億円)をJASSOに設置することを提案します(所得、成績、国籍要件あり)

● ものづくり国家への回帰!

— GDP世界2位を 地方のものづくり力で奪還

- ・ 特色ある地方の匠の技、地場産品、精密加工技術を徹底応援。新製品開発を促し、輸出産業へ。
- ・ ロボット、人工知能、先端医療への積極投資で世界一の創造国家へ。
- ・ 燃料電池車などの水素エネルギーや電気自動車の開発・普及で、クリーンエネルギーで稼げる国家へ。
- ・ 分業型稲作の導入で、農家は美味しい米づくりに専念。稼げる農業に。

● 地方都市を消滅させない!

— 意欲のある地方を徹底的に応援 安心して暮らせる地域に

- ・ 花粉症を無くしてみんなで豊かに。(建築物の木造利用を推進→杉山伐採で花粉症の激減、林業の復活→海も豊かに、漁業も発展)。
- ・ 過度な既得権を是正し、許認可手続きを簡素化。地方発のビジネス・チャンスを拡大。
- ・ 地方で雇用を増やした企業に減税措置を恒久化。
- ・ 復興のための財源を被災地の判断で使える「復興基金」に移行。被災地の継続的復興を助ける。
- ・ 介護福祉士の待遇を大幅に改善。介護現場の充実で、不安のない老後を実現。

※次世代の党 主な基本政策

- ・ 参政権は国民固有の権利、外国人地方参政権に反対。
- ・ 生活保護は日本人限定。
- ・ 自主憲法の制定。
- ・ 拉致問題の解決。

・ 老朽化した公共施設や道路などの社会インフラの更新を速め、安全な暮らしを実現。
・ 城郭や天守閣など歴史遺産を復元。文化の再生と観光でまちを豊かに。